

熊本学園大学 外国語学部 第04号

英米学科 GAZETTE

平成29年3月
発行・編集
熊本学園大学 外国語学部

巻頭言

どの言語で？



外国語学部長 矢野 謙一

外国で何か起こると、まず言語が気になる。2月にクアラルンプールの空港で起きた事件には、北朝鮮籍の男たち、ベトナム籍とインドネシア籍の女性などが関わっている。それぞれ教育に使われる言語は朝鮮語、ベトナム語、インドネシア語である。容疑者はどの言語で意思疎通をしたのだろうか、気になる。英語だとしても、容疑者の学歴や教育環境から考えると、その場しのぎの破格の英語だったろう。また男たちは日本のテレビ番組を作っていると言ったそうだから、日本語も出たかもしれない。どう意思疎通したかについて報道されないが、興味津々である。

この事件では韓国のテレビニュースが日本でたびたび放送される。当事者でない韓国の韓国語がよく出てくるのはおか

しなことで、報道はプロパガンダなのであろう。その一方で、現場のマレーシア語の報道は聞かれない。言語から世の中を見ると別の動きが見えてくるのは常であるが、妙である。

英米学科の最新ニュース

昨年12月中旬に推薦入試合格者を対象に、入学前準備講座を本学で実施した。その後も引き続きインターネットを通して、4月の入学まで継続的に語彙力アップを図っている。また、3人のネイティブ教員とネット上で「おしゃべり」する機会を提供している。★2月初旬には卒論発表会が開催され、3名の代表者が自分の卒論を後輩達に紹介した。★2月初旬13名の英米学科の学生が、ニュージーランドに3週間の summer program に出かけた。

研究紹介

悩めるナルシシスト、ホーソー

外国語学部英米学科教授 向井 久美子

アメリカ文学は、十九世紀中葉のアメリカン・ルネサンス期になって、ようやくイギリスやフランスやドイツなどのヨーロッパ文学の模倣的創作期から脱却し、ナショナルリティを持った独自の文学が生み出されるようになりました。この時期にはその名に相応しく多くの文豪が輩出されています。例えば思想家のエマソン、『森の生活』のソロー、世界十大小説の一つ『白鯨』のメルヴィル、当時には珍しくカミングアウトした「草の葉」詩人のホイットマン、ミステリアスな謎解きの詩を書いたディキンソン、リンカーン大統領から南北戦争が起るきっかけと言われた『アンクル・トムの小屋』のストウ夫人、そして、私の研究対象であるナサニエル・ホーソーなどです。ホーソーは時々夏目漱石に、また代表作『緋文字』も『こころ』に譬えられることもある古典的名作です。男女の三角関係を話の軸にしながらも、単なる恋愛小説ではなく、数々の比喻やメタファー、暗示されたテーマなどが人気の理由です。

ホーソーは、祖先が魔女裁判で無実の人々を処刑した裁判官の一人であったことが強く影響し、作品には因果応報、罪悪感、心の闇などに関係したテーマが底流しています。そのため、贖罪や心の問題を扱ったテーマは、既に論じ尽くされていると考えら

れていますので、私は別の観点から作品分析することで、この作家の新たな魅力を見つけてみたいと思いました。

作風から非常に繊細であることと、美意識が高いナルシシスト（夥しい数の肖像画を、自分で依頼して書かせていたことも事実です）であることは明白でしたので、まずは芸術作品などに関する審美眼が、当時のアメリカ人としてはどのくらい鋭かったのかに興味を持ちました。最終的には、ヨーロッパに対するコンプレックスが反映されているものの、アメリカ独自の芸術観も芽生えているため、折衷的な、それなりのレベルの美意識は認められるという一応の結論に達しました。*

これまでの研究は視覚と美意識が中心でしたので、現在はそこから少し角度を変えて、作家の五感の中でもその他の繊細な感覚に焦点を当てて面白い研究ができなかと模索中です。例えば嗅覚で、ブルースト効果という言葉や、フランス文学では有名なジュースキントの『香水』が示唆するような興味深いトピックがあると思いますし、味覚や第六感なども新たな研究テーマの可能性があると思っています。より深く理解するために、様々なテーマを通して、少しずつその作家を解剖していくのが楽しみでもあります。

*本研究は *Hawthorne's Visual Artists and the Pursuit of a Transatlantic Aesthetics* (Oxford, UK: Peter Lang, 2008) としてイギリスの出版社から上梓することができました。

学者への道程

THE IMPORTANCE OF OPPORTUNITIES

外国語学部英米学科教授 米岡 ジュリ

Many people ask me “Why did you come to Japan? And how did you become a university professor?” To both, I can only answer that I took opportunities.

My first opportunity was to apply for and obtain a “triple group major” at university. A “group major” (which was somewhat less demanding than a full double major) combined two foreign languages, or one foreign language and linguistics. I started out studying French, and added German in my second year.

Then, I decided to take another opportunity—a third year abroad in Germany. There, I was able to take seven courses in linguistics, and voilà, I had enough credits to add linguistics to my group major of French and German. I graduated with a triple degree in French, German AND linguistics, the only student in my university to have done

so, as far as I know.

So what do these opportunities have to do with Japan? Well, two things. First, I started studying Japanese in Germany. This led me to a two year teaching contract in Nagoya after graduating, which led me to meeting my husband, which led me to Kumamoto. Second, Kumamoto University of Commerce (熊本商科大学), as it was called back then, put out a teaching position for a native English speaker with fluent Japanese and a degree in English linguistics. So I got the job.

Because I took the opportunity to study German, I went to Germany. Because I went to Germany, I took the opportunity to study linguistics and Japanese. Because of these, I was offered the opportunity to become who I am today. If I had not taken these opportunities, I would have had a very different life. Opportunities they can be doors to a wonderful future. Don't miss them.

図書紹介

今井むつみ (2010) 『ことばと思考』

外国語学部英米学科教授 神本 忠光

世界の言語のなかには、右や左を指す単語を持たない言語があるという。そんな言語を持つ人々は「右に曲がれ」をどう表現するのだろうか。東西南北の方位を使い、「西に曲がれ」などと表現するという。日本語は自分の身体を中心に捉える。180度身体を反転させ北が南になっても、右は右である。こういった違いは色や動作などにも頻繁に見られる。

すると、言語が異なる人たちの世界の見え方は同じなのだろうかという疑問が生まれる。言語には普遍性がないと伝達不可能だが、多様性も溢れている。そのような個々の言語にどのように発達していくのであろうか。また第2言語としてどのように学ばれていくのだろうか。それらを解明するために、大人や赤ちゃんを対象に一連の実験を行っている。

日本語では「線路を渡る」と言えるが、「野球場を渡る」とは不自然である。「渡る」は、ある地点から別の地点に移

動するときその二地点が「何か」によって隔てられていなければならない。野球場は地続きであり、「横切る」が適切である。しかし、英語の go across はどちらでも使える。英語は日本語と異なり、場所の情報を動詞に組み込む必要がない言語である。著者は、日英語の言語発達でこの差が生じるのは、生後14カ月と19カ月の間だということを実験で示している。

英語の世界に日々どっぷり漬かっている指導者にとって、言語習得・発達を新たな視点から照射してくれる良書である。



(岩波書店、800円＋税)

学会・調査報告・出版等報告

A Study of Work Value and Practice of the Myanmar People and the Japanese: In Pursuit of the Conditions to Work Together

外国語学部英米学科教授 佐藤 勇治

2016年3月11日に、ミャンマーのヤンゴン経済大学で開催された、「第6回開発の選択に関する国際会議」にて、研究発表を行った。内容は、ミャンマー人と日本人が協働する条件を探るために、双方の労働観と習慣を比較考察したものである。近年のミャンマーの民主化と経済発展に合わせて、日本企業の進出が増え協働の機会が増えたことが背景で

あるが、日本人との類似性が高いことがわかった。例えば家族主義的な労働環境や年功序列的要素、終身雇用などを好む傾向などである。違いは民族構成の多様性と仏教を中心とする宗教の生活への影響の高さなどにあるので、協働する場合は工夫を要する。

出版：

佐藤勇治他 (2016) 『Let's Enjoy Business English』, 南雲堂。

英字新聞記事を素材にして、貿易、為替、金融、税制、労務など幅広い話題から、ビジネス英語に関する語彙や専門知識を学ぶ入門書である。

編集後記

今回から「学会・調査報告」欄を「学会・調査・出版等報告」と拡張させた。大学教員の仕事は教育と研究である。学生は授業期間以外は、学生と同様に休みだと思っているようだが、とんでもない。次年度の授業の準備以外に、学会発表の準備、論文・書籍執筆等に時間を費やしている。(TK)

編集人 神本 忠光 (英米学科長)

〒862-8680

熊本市中央区大江 2-5-1

TEL: 096-364-5161 (代表)

Mail: kamimoto@kumagaku.ac.jp



きみと未来をつなげる

クマガク